

令和6年1月9日 3学期始業式の言葉

みなさん、おはようございます。新しい年を迎えました。どんなお正月を過ごしましたか。2学期の終業式で、副校長先生がおっしゃった、3つの栄養（頭の栄養、体の栄養、心の栄養）をしっかりと蓄えてきましたか。今日から3学期が始まります。3月までみんな元気に過ごしていきたいですね。

さて、元日の1月1日に石川県の能登半島で最大震度7の大きな地震がありました。石川県、富山県、新潟県とその近県では、広い範囲で大きな被害があり、現在も被災された方の救出活動や支援活動が続いています。令和6年は、とても悲しいできごとから始まってしまいました。

みなさんのご家庭でも、被災された方の中に、親戚やお知り合いの方がいらっしゃるかもしれません。心よりお見舞い申し上げます。

実は、中川中の先生もお一人、能登の出身で、年末年始に実家に帰られているときに地震が起こり、ご家族とともに被災されました。幸いご家族とともに無事で、現地の避難所に避難されました。現地の被害は深刻で、道路や交通機関が寸断されたことなどから、まだ横浜に戻ってこられていません。しばらくお休みされますが、私たちとは連絡が取れていて、ご家族ともども元気にされているので、生徒のみなさんは心配せず、知っておいてください。クラスや授業を受けているみなさんには、先生が戻るまで不便をかけるかもしれませんが、協力をお願いします。

ところで、このように身近な人が災害に遭ったり、テレビやインターネットなどで災害の様子をたくさん見たりすると、「共感疲れ」ということが起きる場合があるそうです。ニュースなどで災害の状況を知り、被災された方を心配したり、支援したいと思う気持ちをもったりすることは、人として大切なことだと思います。しかし、「共感疲れ」を起こすと、「自分だけ無事でいいのだろうか」「自分は好きなことをしていていいのだろうか」と落ち込んでしまうのだそうです。それは被災された方も望んでいないことですね。

有名なお笑いタレントで、「やす子」という方を知っていますか。元自衛隊員で「はいー」という言葉でおなじみの方です。やす子さんが、今回の能登半島地震で、ファンの方から「私たちにできることは何ですか？」と質問をされ、こう答えたそうです。

「日常生活を送れる方は、いつも通り日常を楽しむことですかね。自家用車で個人的に支援に行くと道路が混み、緊急車両の邪魔になって助かるはずの命が助からなくなることもあるので、皆さん、今いる場所で、精一杯日常を生きることが大切かも。あとは募金とかでしょうか。」

私はこの記事を読んだときに、まったくその通りだなと思いました。先ほど被災された先生の話をしてしましたが、私たちにとっては大切な先生であり仲間でもあり、今回のことでとても心配しています。でも、私たちは、今日から3学期の学校生活を皆でしっかりと送り、先生が無事に帰ってくるまで、元気に中川中を守っていきましょう。

3年生のみなさんは、進路選択の本番を迎えました。それぞれ不安な思いもあると思いますが、学校には同じ不安を抱えた仲間がたくさんいるので、お互いに励まし合って、みんなで取り組んでいきましょう。

1、2年生のみなさんは、学年のまとめの時期であるとともに、最上級生や後輩を迎える2年生に進級する準備をする時期でもあります。これまでを振り返りつつ、「なりたい自分」の姿を思い描きながら、3月までを過ごしましょう。

最後に、今年の終わりに、小中高生の子どもたちが選んだ「今年の漢字」の話をしていきます。1位は2年連続でタノシイ（楽）という字でした。2位は、推薦のスイ、推すという字でした。3位は、恋愛のレン、恋という字でした。

大人が選んだのは、税金のゼイの字でしたよね。それに比べると、子どもたちが選んだ漢字はどれも夢があっていいですね。

3つの漢字に共通することは、何だかわかりますか？それは、「自分とだれかとかかわる」ということです。だれかと一緒に「楽しむ」、誰かを応援して自分も嬉しい「推し」、だれかをかけがえなく大切に思う「恋」。3つとも、人としてもちたい「だれかとかかわりながら生きていく」という気持ちに通じる漢字です。私はいつも言いますが、中川中の教育目標「信頼と共感」も同じですね。昨年皆さんが書いた人権宣言や、PF宣言にも、自分と他の人のどちらも大切にするような宣言がたくさん書かれていて、とてもいいなと思いました。

今年も、中川中のみなさん、全国の子どもたちが、だれかとかかわり、励まし合い、協力し合い、高め合いながら伸びていく、そんな1年にして、今年も年末に、夢のある漢字が選ばれるといいなと思っています。

それでは、今年もよろしくお祈りします。